

# 第104回経営協議会議事要録

日時 令和3年3月19日（金）13時30分～15時20分

会場 大学本部棟5階 第1会議室（TV会場：医学部管理棟2階学長室）

出席者（委員）

丸茂、赤澤、北島、佐山、進藤、清水、中村の各委員  
島田学長、早川理事、村松理事、袖山理事、杉山理事、武田理事

（列席者）

市川理事、齋藤監事、八巻監事、風間副学長、白沢相談役、山田学長補佐、小林総務部長、  
松元財務管理部長、窪田教学支援部長、渡邊研究推進部長、茅国際部長、野中医学域事務部長、  
田中監査課長、志村企画課長、石原総務課長、田中財務管理課長、安田施設企画課長  
植村総務課課長補佐

議事要録確認

第103回（3.1.22開催）の経営協議会議事要録を確認した。

審議事項

## 1 就業規則の一部改正等（案）について

袖山理事から、資料1により、工学域の教員人事制度の改正（事実上のテニユアトラック制度の適用）、職員の出退勤管理方法、非常勤職員の年次有給休暇、栄養管理部調理師の勤務時間及び非常勤職員等の育児休業取得期間の変更に伴い就業規則の一部を改正することについて説明があり、審議の結果、これを承認した。

- ・国立大学法人山梨大学教員の任期に関する規程
- ・職員就業規則
- ・非常勤職員就業規則
- ・国立大学法人山梨大学に勤務する職員の勤務時間等に関する規程
- ・非常勤職員等の育児・介護休業等に関する規程

## 2 令和3年度年度計画（案）について

早川理事から、資料2により、各理事が中心となり検討・作成した令和3年度の年度計画（案）について説明があり、審議の結果、これを承認した。

なお、3月末日までに文部科学省に提出する必要があるため、意見等がある場合は企画課に連絡願いたい旨依頼があった。

また、修正等に係る最終的な判断は執行部に一任することにした。

関連して、国立大学法人法改正案において、第4期中期目標期間から、文部科学大臣に届出を行う年度計画や年度評価の廃止が予定されている旨説明があった。

## 3 「山梨GLIAセンター」の設置（案）について

早川理事から、資料3により、グリア・免疫学研究を基軸に異分野融合研究の推進及び新たな教育への展開を図り、先端脳科学研究の次のブレイクスルーを目指すため、本学教育研究組織設置規程に基づき、既設の学際的脳免疫研究センターを発展的に改組（拡充）し、標記新センターを設置すること、同センターの設置に伴い国立大学法人山梨大学基本規則の一部を改正することについて説明があり、審議の結果、これを承認した。

- ・国立大学法人山梨大学基本規則

## 4 「地域防災・マネジメント研究センター」の認定更新（案）について

早川理事から、資料4により、本年度末で認定期限を迎える標記センターについて、認定期間を令和8年3月31日まで（5年間）更新する旨説明があり、審議の結果、これを承認した。

- 5 令和3年度収入・支出予算学内当初配分（案）について  
杉山理事から、資料5により、標記学内当初配分（案）における収入予算、支出予算及び指定経費等に係る収入・支出予算の概要について説明があり、審議の結果、これを承認した。  
併せて、各事項の細部に関し照会事項等がある場合は、財務管理課に問合せいただきたい旨の依頼があった。
- 6 令和3事業年度長期借入金の認可申請等（案）について  
杉山理事から、資料6により、医学部附属病院の施設整備のための資金調達として、（独）大学改革支援・学位授与機構から所要額の借入れを行うこと及び長期借入金の償還計画に係る説明があり、審議の結果、これを承認した。
- 7 令和3年度資金運用方針及び資金繰計画（案）について  
杉山理事から、資料7により、収入及び支出の月別見込額を基に現金ベースにより作成した資金繰計画に基づき、中期・短期運用を行うことについて説明があり、審議の結果、これを承認した。
- 8 令和4年度施設整備費等に係る要求事項の選定（案）について  
杉山理事から、資料8により、各学域等からの要求書に基づきヒアリングを実施し、学長、理事等の評価結果を基に作成した施設整備費要求事業5件（2,500万円以上）、営繕事業3件及び学内施設環境整備事業3件（2,500万円未満）の要求事項についての説明があり、審議の結果、これを承認した。  
なお、要求順位については、学長一任とすることとした。
- 9 押印手続きの見直し等に伴う学内規則の一部改正（案）について  
袖山理事から、資料9により、規制改革実施計画（令和2年7月17日閣議決定）及び文部科学省大臣官房長通知（令和2年12月1日）による書面・押印・対面の見直しに伴い、押印手続きに関連する学内規則等を一括改正する旨説明があり、審議の結果、これを承認した。

#### 報告事項

- 1 学長選考会議による学長の業務執行状況の検証結果について  
袖山理事から、資料10により、令和元年度の学長の業務執行状況について、「良好」と判断された旨報告があった。
- 2 （一社）大学アライアンスやまなしの活動状況について  
早川理事から、資料11により、標記法人の直近の活動状況として、主に理事会及び臨時総会における審議事項等（大学等連携推進方針及び令和3年度の事業計画・収支予算並びに大学等連携推進法人の認定申請等）について報告があった。  
なお、臨時総会において、大学等連携推進法人の認定申請を行うことが承認されたことから手続きを開始したこと、及び事業計画は標記法人のホームページで公表されている旨説明があった。  
また、机上配付資料4により、四国の5国立大学による連携法人の2023年度設立について、検討が進められている旨の報告があった。
- 3 新型コロナウイルス感染症への対応について  
島田学長から、机上配付資料1により、本学における令和3年1月以降の対応状況等について報告があった。

報告事項4～10（資料12～18）については、新型コロナウイルス感染症防止の観点（会議時間短縮）から、説明を省略して各自確認することとし、意見等がある場合は、担当理事等に連絡願うこととした。

- 4 教育研究評議会の開催状況について（資料12）
- 5 役員会の開催状況について（資料13）
- 6 医学部看護学科の講座変更について（資料14）
- 7 令和2年度＜第3次補正予算＞国立大学法人等施設整備実施予定事業について（資料15）
- 8 山梨大学不動産貸付事務取扱要領の一部改正について（資料16）
- 9 国立大学法人山梨大学広告掲載等取扱いについて（資料17）

10 寄附講座（地域周産期等医療学講座）の設置期間延長について（資料 18）

12 その他

（1）令和 2 年度学長等と外部有識者との意見交換実施状況について

学長から、机上配付資料 2 により、外部有識者との意見交換に係る内容要旨について、報告があった。

（2）毎日新聞の報道について

袖山理事から、机上配付資料 3 により、国立大学の学長選考に関する毎日新聞の報道について報告があった。

（3）委員の退任について

今年度をもって退任となる委員（清水委員、早川理事、村松理事、袖山理事、杉山理事及び武田理事）から、それぞれ挨拶があった。

次回会議 令和 3 年 5 月 21 日（金）13 時 30 分から開催することを確認した。

学外委員からの意見等

審議事項

8 令和4年度施設整備費等に係る要求事項の選定（案）について

（進藤委員）

施設整備費要求事業、営繕事業及び学内施設環境整備事業に採択されなかったものについては、学内費用を捻出していくのか。

（杉山理事）

緊急性等を勘案し、学内経費等で対応できる事業は限られているため、事項を精査し、概算要求等で要求していくことになる。

報告事項

2 （一社）大学アライアンスやまなしの活動状況について

（丸茂委員）

全国の私立大学が公立化を模索しているとの報道がなされているが、山梨県内でもその動きがあるのか。

（清水委員）

全国では、私立大学が公立化する動きが加速化しているが、山梨県内ではその動きはない状況である。将来的には、私立大学が（一社）大学アライアンスやまなしに加わることを検討していく準備はある。

（佐山委員）

連携開設科目の取得単位について、履修の上限はあるか。その上限は、卒業に必要な単位の何割程度なのか。

（清水委員）

卒業要件と認められる連携開設科目の履修上限は30単位であり、卒業に必要な単位の約4分の1となる。

（中村委員）

（一社）大学アライアンスやまなしについて、存在意義と強さの源泉を確認し、運営していくとともにデジタル化や合理化を同時に進めて、大学が経済的にも自立できるような仕組み作りが必要である。

（島田学長）

実効性のある施策を実施していきたい。

3 新型コロナウイルス感染症への対応について

（中村委員）

シミックHDにおいては、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種体制整備等をサポートしているが、日本は情報収集、技術レベルの低下の問題があるように感じている。

（島田学長）

ワクチン接種体制の整備について、山梨県及び甲府市との連携した取り組みに感謝する。本学も積極的に協力して、実行していきたい。

（北島委員）

新型コロナウイルス感染症の対応で、岐阜県内の事例であるが、救急患者等が一般病棟で新型コロナウイルス感染症を発症した場合、感染を食い止めることは困難であった。

（島田学長）

本学附属病院では、救急受入患者の対応に注意し、PCR検査などを実施している。現在までは、一般病棟で新型コロナウイルス感染症の発生（院内感染）はないが、今後も慎重に対応したい。